

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護マネジメント論	NSP44_003	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子	408	mariko.horiguchi	火曜日 15:00～18:00		
授業の目的・概要	社会のニーズに応える看護を提供するために、看護管理の概念およびマネジメントの基礎知識・技術を学習する。看護の質向上と質保証のため看護提供システムや看護体制、リーダーシップ・メンバーシップについて理解を深め、看護の質に大きく関わる看護職員のキャリア開発について、学生自身のキャリアプランを考える機会とする。チーム医療の中での看護職の役割の発揮や多職種との連携・協働を学び、看護職の役割と機能について考察する。				
学習上の助言	これまで学習した社会保障論、保健医療福祉行政論、看護と関係法規および看護倫理等専門教育関連科目および実習での学びを整理して受講すること。 毎回授業で学んだことをリアクションペーパーにまとめて自分の学びを整理すること。				
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [1] 看護管理/著:上泉和子/医学書院/2020				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護管理学習テキスト第3版/井部俊子監修/日本看護協会出版会</li> <li>看護管理ファーストブック改訂第2版/太田加代/学研/2019</li> <li>感染管理・感染症看護テキスト/大曲貴夫・操 華子/照林社/2015</li> </ul>				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護を提供する組織の構造や機能、体制を理解できる。	HSU(2)、NS(2)			
②	看護を行う上で必要な法的制度を理解できる。	HSU(2)、NS(2)			
③	看護マネジメントと看護サービスの特徴を理解できる。	HSU(2)、NS(2)(4)			
④	キャリア開発の視点から個人と組織の関係について理解できる。	HSU(2)、NS(2)(4)			
⑤	多職種連携が効果的に機能するための条件と看護の役割を説明できる。	HSU(2)(4)、NS(2)(4)			
⑥	看護管理の必要な能力について理解できる。	HSU(2)(5)、NS(2)(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護とマネジメント 看護管理学とは 看護におけるマネジメント マネジメントの変遷	講義	事前課題:テキスト p2-14 を読み、整理して出席する。	3	
2	マネジメントに必要な知識と技術 組織とマネジメント リーダーシップとマネジメント 組織の調整	講義	事前課題:テキスト p138-162 を読み、整理して出席する。	3	
3	看護ケアのマネジメント 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 患者の権利の尊重 安全管理 院内感染対策 災害予防と対応	講義	事前課題:テキスト p16-62 を読み、整理して出席する。	4	
4	看護ケアのマネジメント チーム医療 看護業務の実践	講義		4	
5	看護サービスのマネジメント 看護サービス・組織目標達成のマネジメント 看護サービス提供のしくみ 人材マネジメント	講義	事前課題: テキスト p78-136 を読み、整理して出席する。	4	
6	看護サービスのマネジメント 施設・設備環境、物品、情報のマネジメント 組織におけるリスクマネジメント サービスの評価	講義		4	
7	看護職のキャリアマネジメント 看護職のキャリア形成 看護専門職の成長 タイム・ストレスマネジメント	講義	事前課題:テキスト p64-76 を読み、整理して出席する。自身のキャリアプランについて言語化し、課題を整理し計画立案をする。	4	
8	看護を取り巻く諸制度	講義 演習 小テスト	事前課題:テキスト p166-193 を読み、整理して出席する。あなたが考える「このような加算があるとよい」と思う診療報酬について整理して出席する。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		20	70	0	10	0	100
総合力指標	知識・技術力	10	20	0	5	0	35
	思考・推論・創造する力	10	20	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	5	0	15
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内で実施する小テストにより学習成果を20%で評価する。				必要に応じて結果のフィードバックと解説をおこなう。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	最終授業時に課すレポートによって授業内容の理解およびテーマに対する学生自身の考え方が明確に表現されているかを80%で評価する。				授業中に助言を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ノートに整理した事前課題を評価する。				事前課題を基に授業を進める。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験: 看護師として40年の以上の臨床経験を有する。</p> <p>実践授業の内容: 実務経験のある教員の指導のもと、看護マネジメントの基本的な知識についての理解を深める。 教員の経験から実践事例を取り上げ、教科書を補強しながら学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業に参加できません。</li> <li>Teamsを使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限のWi-fi環境を推奨いたします。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるので、その際は随時、お知らせいたします。</li> </ul>							